

開催案内

マンスリーセミナー

431 回	4/16 (火)	自動運転用LiDAR向け距離計測SoC技術	株式会社東芝 研究開発センター ワイヤレスシステムラボラトリー 研究主務 崔 明秀 氏
<p>(内容) 本発表では、安心・安全な自動運転システムを実現するための車載 LiDAR 向け長距離・高解像距離計測技術について紹介する。簡易な計測対象の認識技術をベースとしたスマートな画素積算技術を用いた LiDAR は、200m という長距離且つ高解像な距離計測イメージングが可能となる。試作機を用いた実証実験の結果、水平:240×垂直:96 という高解像、10FPS の高フレームレート、且つ、照度 70klux の炎天下で、従来の2倍となる200mの測距が本技術によって可能となることを証明した。</p>			
432 回	5/28 (火)	シリコンフォトニクス集積回路の 製造・評価プラットフォーム	国立研究開発法人産業技術総合研究所 技術研究組合光電子融合基盤技術研究所 堀川 剛 氏
<p>(内容) シリコンフォトニクスは、サブミクロン幅のシリコン配線を光導波路として用いて、高速光信号の生成と検出等の機能を1チップに集積する技術です。電気配線を越えた高速の情報伝送を可能にする技術として、現在研究開発が急速に進められ、実用化が始まっています。また、医療センサや宇宙関連などにも応用が広がっています。本講義では、シリコンフォトニクスの基礎から最近の研究開発動向までを、こうした開発を支えるシリコンフォトニクス集積回路の製造・評価プラットフォームという視点から整理して解説します。</p>			
433 回	6/18 (火)	超伝導量子コンピュータ開発の現状と課題	東京大学 先端科学技術研究センター 中村-宇佐見研究室 特任助教 杉山 太香典 氏
<p>(内容) 量子コンピュータは、量子性というミクロな物理系の性質を積極的に活用して計算を行うデバイスの一種である。既存のコンピュータが苦手な計算問題を効率的に解けることが理論的に証明されている。90年代以降、世界各国で量子コンピュータの研究が行われ、学術的には大きな進展がみられている。一方、社会的または産業的に重要な計算問題を実用的なサイズと精度で解くためには、解決すべき課題が残されている。本講演では、まず量子コンピュータの理論的な基本事項を概説し、次に超伝導量子回路に基づく量子コンピュータの基本事項と開発の現状、実用化に向けて今後解決すべき課題について説明する。</p>			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅）
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階
時間：午後3時30分～5時30分
定員：60名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参加料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）
大学・公的機関：無料（学生・院生含む）
申込先：光産業技術振興協会 開発部 村谷
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp